

学校だより



成人の日を含む3連休が明けた先週でしたが、低学年でインフルエンザの罹患者が増え、1年生と2年生の1クラスずつを2日間の学級閉鎖にしました。該当クラスの保護者様には、学級閉鎖中の対応などにご協力いただき、ありがとうございました。テレビ等でもインフルエンザの感染拡大は全国的なニュースとして取り上げられています。今のところ、手洗い・うがいといった基本的な予防対策にみんなで行きながら、十分な栄養や睡眠で免疫力を高めて感染症防止に努めていくしかないようです。



全国学校給食週間 1/24(金)～1/30(木)



1月24日(金)～1月30日(木)は「全国学校給食週間」です。日本での学校給食は、明治22年に山形県鶴岡町の小学校で始まりました。その後、全国に広まり実施されるようになりましたが、戦争による食料不足により中止せざるを得なくなりました。戦争が終わり、昭和21年12月24日に東京、神奈川、千葉の3都県の学校で試験給食が実施されました。それ以来、12月24日を「学校給食感謝の日」と定めていましたが、各学校の冬休みと重なることもあり、1/24～1/30までの1週間で「全国学校給食週間」となりました。上小の「食育だより」の1月号でも紹介されています。



文科省 HP はこちらから↑

右の表は文科省の HP から引用した資料です。これを見ると、学校給食で使われている食塩の量が平成7年までと今とでは、約半分になっていることがわかります。子供たちが食べている給食の味とお父さんやお母さんが食べていた味とは、違うものかもしれません。文科省の HP では、他にも「給食の献立の決め方」や「給食の安心・安全はどのように守られているのか」などの全国学校給食週間に関する資料がまとめられています。

学校給食の味付けについて



学校給食のナトリウム(食塩相当量)は、1日の目標量の1/3未満を基準としています。給食を食べると薄味に感じることもありますが、それは濃い味付けに慣れてしまっているからかもしれません。給食では、「だし」を取って食材のうまみを引き出すことにより、ナトリウム(食塩相当量)を抑えるなどの工夫も行っています。

一人一回当たりの学校給食のナトリウム(食塩相当量)基準の変遷

区分	平成7年度～	平成15年度～	平成20年度～	平成30年度～	令和3年度～
小学校(低学年)	4g以下	3g以下	2g未満	2g未満	1.5g未満
中学校			3g未満	2.5g未満	2.5g未満

※～平成6年度は基準なし

サイフの中身は？

子供たちのお正月の楽しみと言えば、今も昔も「お年玉」だと思います。最近は、電子マネーでのお年玉もあるというニュースをみて、少しショックを受けたのですが、子供たちが持っている財布の中身をご存知でしょうか？いくらぐらいのお金を持っていて、何に使っている(使おうとしている)のか？残りのお金はいくら？など、大人がきちんと関わることで、正しいお金の使い方や大切さを身につけてほしいと思います。この時期が家庭での金銭教育を実施する良いタイミングかもしれません。お金が急に減った(増えた)、知らないうちに物が増えた等、気になることがあれば、学校にご相談ください。



災害への備え

連休最終日の夜、宮崎県を震源とする大きな地震が発生しました。幸い大きな被害はありませんでしたが、揺れの大さに驚かれた方も多かったのではないのでしょうか？能登半島地震から1年、阪神淡路大震災から30年が経過していますが、今だからこそできる備えをしておかなければなりません。学校では、今週、避難訓練の実施を予定しています。



↑↑↑↑
上峰小 HP